

大台ヶ原(大杉谷コース)山行報告



【山行日】 2016年5月27日～5月29日(金～日)

【集 合】 岩舟支所P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 31,800円

【メンバー】 CL:鈴木 大西、香川、小笠原、島田、
渡辺

27日 晴れ 大杉谷登山口から大杉谷を遡行し、
千尋滝やシシ淵・ニコニコ滝の絶景を楽しむ。

岩舟支所P3:00＝大杉谷登山口 P10:00/10:30～京良
谷 11:40～千尋滝 12:40～シシ淵 13:30/13:50

～ニコニコ滝 14:10～桃の木山の家 15:10

「東の黒部峡谷」「西の大杉谷」と称され、清流と屹

立する岩壁が織りなす溪谷美に多くの人々が魅了される人気の「大杉谷」。以前、計画を立てたが、平成16年9月の台風21号により壊滅的な被害を受け長い間通交止めとなっていた。一昨年5月に再開し、念願の「大杉谷遡行」が実現できた。

伊勢志摩サミットで厳重な警戒の中、伊勢湾岸道から東名阪道、伊勢自動車道を走り、大宮大台 IC で降り宮川ダム奥にある登山口を目指す。ダムの一番奥にトイレと駐車場があるが、駐車場は奥行きが無く縦列駐車になるため5～6台しか止められない。トイレの前に車を止め、少し早いコンビニで買った弁当と味噌汁で昼食を摂る。ストレッチを済ませ、登山届をトイレの前に設置されたボックスに入れ出発する。宮川第三発電所の先に登山口の案内があ



り、ここから先が本格的な登山道となる。

宮川の左岸の急峻な崖に付けられた狭い登山道を、へつるように登って行く。すぐに大日嶺吊橋が現れ、いくつもの支沢を吊橋で渡って行く。沢の水がとても綺麗で、透き通ったエメラルドグリーンに皆「キレイ」を連発する。2時間ほど歩くと対岸の上に大きな滝が現れる。千尋滝で岩壁の上から落ちる、落差135mの見事な滝だ。滝が良く見える場所に休憩舎があり、

休
憩
を
と
つ

果物を食べ水分を補給する。

ここからも同じような道を辿るが、支沢を渡るたびにアップダウンを繰り返し体力が奪われる。

同じような景色に飽きたころ、深い淵が現れ少し先で川原に降りられる。河原の奥まで行くと、大きな岩と岩のあいだに滝が落ちている神秘的な光景が見られる。ここが本日随一のビューポイント「シシ淵」で





岩と岩の間に見える滝がニコニコ滝である。大休止し果物や菓子を食べ、のんびりと景色を楽しんだ。ここから急な岩場を登り、少し進むとニコニコ滝が近づき実に見事な滝だ。滝の先に平等岨の大岩壁が立ちふさがり、平等岨吊橋で右岸に渡る。右岸の登山道から見る平等岨は凄まじく、道を右岸に避けたのが納得できた。ここからやや傾斜がきつくなり、「大杉谷」の大きな看板で休憩し記念写真を撮る。ここからほんの少し登ると対岸に「桃の

木山の家」が見え、吊り橋を渡ると桃の木山の家に着いた。受付を済ませ、2階の部屋に案内され男女の間を一つ空け、8枚の布団を割り当てられた。荷物を整理し、風呂に入ってから食堂のテーブルで宴会が始まった。ビールと焼酎や日本酒で疲れを癒し、明日の七ツ釜滝や日出ヶ岳登山、夏山の計画等々で話が盛り上がった。お楽しみの夕食は、定番のカツカレー。美味しくいただき、明日に備えて早めに床に就いた。



28日 曇り後雨 桃の木山の家から七ツ釜滝、堂倉滝等の大杉谷核心部を歩き、日本百名山の日出ヶ岳に登頂後大蛇岨まで足を延ばし、東大台を堪能する。

桃の木山の家 6:15～七ツ釜滝 7:00～崩壊地 7:50～光滝 8:20～堂倉滝 9:05

【リーダー】 堂倉滝 9:10～大杉峡谷登山口 13:40＝大台ヶ原 17:00

【A班・B班】 堂倉滝 9:20～栗谷小屋 10:25/10:40～ジャクナゲ平 11:35/12:05～日出ヶ岳（山頂） 13:20/13:35～尾鷲辻 14:20

【A班】 尾鷲辻 14:20～大台ヶ原（ビジターセンター） 15:00

【B班】 尾鷲辻 14:20～大蛇岨 14:50/15:05～大台ヶ原（ビジターセンター） 16:00

2日目。

大杉谷のさらなる奥へ、そして、日本百名山の日出ヶ岳へ。



4:30 に起床し、身支度を整え、5:30 から桃の木山の家でのしっかりと朝食をいただく。

計画では7:00の出発予定だったが、金曜泊であったため宿泊者もさほど多くなく食事等での混雑もなかったため6:15に出発。

七ツ釜滝、そして2004年の水害で2014年まで不通となっていた崩壊地、光滝を経由して堂倉滝を目指す。

が...崩壊地までの沢沿いの登山路は岩場が多く、夜に降った雨の影響で足元はとて滑りやすく、ペースが上がらない。ダイナミックでありながら美しい滝、澄んだ水の流れる沢、幻想的な雰囲気を作り出す木々などの景色を楽しみながらも、非常に慎重な歩行となった。



結果、堂倉滝までコースタイムで2時間のところ、2時間50分を

要することとなる。

堂倉滝でしばしの休憩。

我々はそこから山登りとなり、日出ヶ岳山頂を目指す。

そして、リーダーは初日のスタート地点「大杉峡谷登山口」まで来た道を引き返し、駐車した車をピックアップし、本日の合流点「大台ヶ原」まで車を回すという、誰もがやりたがらないような過酷な役を務めてくださる。

感謝...という言葉しか見つからない。

さて、堂倉滝を後にした日出ヶ岳山頂を目指すメンバーは、順調に急登も通過し、栗谷小屋へ。この小屋は有料(100円)だがキレイな水洗トイレが使用できる。

そして、入り口には「延命水」と名付けられた水場がある。

I嬢は余ほど長生きしたいらしく、3Lの延命水をザックに収納する。



栗谷小屋から日出ヶ岳への登山路ではシャクナゲ平を通過するが、シャクナゲの時期には1週間遅かったらしく、9割以上の花が落ちてしまっていた。

しかし、その代わりと言っては何だが、満開のシロヤシオが我々を迎えてくれた。

シャクナゲ平でお昼休憩。お昼は桃の木山の家のお弁当。

ゴロゴロとした大きなお肉の入ったチマキがパワーを回復してくれる。

お昼を食べて1時間ほど歩き日出ヶ岳山頂へ。

残念ながら曇り...さらにガスがどんどん発生し、山頂を離れる頃には小雨が降り始めた。

そこまで強い雨ではないのだが、雨脚に弱まる気配が見えないため全員レインウェア(上)を着て大蛇ヶ原を目指す。



その途中、尾鷲辻で残りの歩程を再計算。

この日は16:30までに大台ヶ原ビジターセンターへ着き、翌日の西大台散策のための事前レクチャーを受講するスケジュールになっている。

このペースでは時間内に到着することは困難であるため、過去に大蛇ヶ原に行ったことがあるA班(3名)は尾鷲辻から下山。



まだ行ったことのないB班(3名)はペースを上げて大蛇ヶ原へ行くこととした。

小雨の中の大蛇ヶ原は岩肌が滑りそうな雰囲気満点。

しかし、高いところが大好きな女性2名は喜んで先まで進む。

彼女たちの喜んだ顔を見ると、大蛇ヶ原を諦めなくて本当に良かったと思えた。

その後もペースを落とすことなくビジターセンターに16:00着。

実は最終のレクチャーが16:00に変更になっていたらしく、ギリギリだった。

レクチャーを受講し、宿にチェックイン、さて風呂にでも入るか...と思ったところでリーダーから到着の電話が入り、皆でお出迎え。

風呂に入り、酒を飲み、アマゴの塩焼きやイノシシ肉など地元食材の夕食をいただき、満足して就寝した。

機会があれば天気の良い日の「日出ヶ岳」をリベンジしてみたいとも思うが、それ以上に秘境「大杉谷」の素晴らしさには何度でも触れてみたいと思わせるものがあった。

H・K記



29日 晴後曇り 西大台の周遊コースを楽しみ、道の駅「大宇陀」でお土産を買い岩舟支所へ帰る。
心・湯治館 8:00～西大台入口 8:15～開拓跡 10:15/10:30～開拓分岐 11:40～中の谷木橋 11:00～
西大台入口 11:20～上北山村物産店 11:30/12:20＝岩舟町役場 21:20



ます。また、利用する前には、必ず30分のレクチャーを受けなければ立ち入りできません。西大台地区は平成18年12月に日本で初めて指定を受けました。2016年現在、北海道の知床五湖と2か所しか指定を受けていません。

心湯治館の美味しい朝飯を食べてから、ビジターセンターでもらった入山許可証を胸にかけ出発します。入り口で係員さんが団体名と責任者、人

今日は朝からスッキリと晴れています。天気が悪くても良くても素晴らしいとビジターセンターで昨日説明されたけど、できれば良い天気に越したことはない。今日は西大台利用調整地区を歩きます。利用調整地区とは、立入人数などを調整する区域のことで、自然公園法に基づき国立公園特別地域内の一部地域を指定しています。立入に当たっては事前に環境省に手続きを行い、定められたルールに従って自己の責任において利用し



数をチェック。さすがに利用調整地区だけあって、厳しい。事前にCLが問い合わせをして入山の届けをしておいてくれたおかげです。少し下って行くと、分岐点になっていて、今日は右から反時計回りに回るように言われていたので、右に進路を取りました。まわりにはあまり草がなく、背の低いミヤマシキミがたくさんあります。鹿が笹を食べてしまい、掃除でもしてあるようでした。緩やかな下り道をセツ池から開拓地まで、ゆったりした歩きで、自然を楽しみながらの散策をしているような

山行です。開拓地にはトイレブースがあり、利用者は袋に入れて、それをお持ち帰りするものでした。



任者のチェックをしました。それから、しばらくあるいて、やっと最初の分岐点に戻りました。

ビジターセンター横の土産店でお昼を食べてから、一路栃木に向かいました。途中の道の駅「宇陀路大宇陀」似寄り、お土産を買ったりソフトクリームを食べ休憩しました。夕御飯は第二東名高速道の焼津サービスエリアで極ウマの海鮮丼を食べました。

三日間の三重県～奈良県に縦走した、大杉谷、大台ヶ原の山旅は最高に素晴らしいものでした。皆さんお疲れ様でした。

私は100円を入れ、初めて使うトイレブースに四苦八苦ししました(笑)

開拓地あたりから、鹿も食べないバイケイソウが沢山あり、まだ、花は咲いていませんでした。

川を幾つか渡り、登りにかかると、何処までも続くと思われるほど真っ直ぐな長いガレ場を登ります。

途中の登山道に係員さんがいて、また団体名や責



M・I記